

	とべちょう 砥部町	〒791-2195 伊予郡砥部町宮内1392		電話 番号	(089) 962-2323
		地域 指定	過疎 山振 農工 辺地(2) 特農 農振 瀬国観テ 県立公園	FAX	(089) 962-4277 (代表)

<https://www.town.tobe.ehime.jp/>

〈沿革〉

平17. 1. 1 町制施行
(砥部町・広田村 合併)

〈市町のあらまし〉

愛媛県の中央部に位置し、松山市の南に隣接している。南は山が多く、北は道後平野の一角を占め、南北に流れる砥部川沿いに国道が走り集落が開けている。松山市と高知県とを結ぶ国道33号線が縦貫する交通の便と、変化に富んだ緑の自然により、松山市のベッドタウンとして昭和41年以後住宅化が進み人口が急増した。柑橘類を主体とした果樹栽培が盛んであるほか、経済産業省より伝統的工芸品の指定を受けている砥部焼は手作りのよさと独特な材質が好評を博し松山圏の重要な観光資源である。

〈由来〉

古来、文献にも見られるような、良質の砥石「伊予砥」を産する町内の一地区を「砥山」と称したが、いつの頃からか、周辺の地域一帯を含めて「砥部」と呼ぶようになった。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増改築	主な増改築箇所
昭62年度		

〈行政組織〉

(令和 3. 2. 15現在)

区分	名前	任期
町長	さかわ ひでき 佐川 秀紀	令和 7. 2. 5
副町長	岡田 洋志	令和 7. 2. 14

議 会 (令和 3. 2. 6現在)

議長	西岡 利昌	副議長	東 勝一
議員	(条例定数) 16人 (現 員) 15人		
任期	令和 7. 2. 5		

職員数 (令和 2. 4. 1現在)

普通会計	171人
企業会計	11人
その他会計	15人
計	197人

〈人口・世帯数〉

()は増減率

区分	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	平27国調	令 2. 1. 1住基
人 口	(7.6%) 20,802	(4.3%) 21,705	(1.7%) 22,075	(1.6%) 22,424	(△2.0%) 21,981	(△3.4%) 21,239	20,982
	男	9,806	10,168	10,338	10,609	10,347	9,995
	女	10,996	11,537	11,737	11,815	11,634	11,244
世帯数	6,462	7,127	7,731	8,201	8,272	8,356	9,320

年齢構成（平27国調）

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上
人 口	2,671 人	12,161 人	6,323 人
構成比	12.6 %	57.3 %	29.8 %

選挙人名簿
登録者数（令和2.9.1現在）

男	8,295 人
女	9,351 人
計	17,646 人

〈土地利用〉

（平27.2.1現在）（ha. %）

総面積 令和2.7.1 (km ²)	林野面積	林野率	経営耕地面積			宅地化率 令元.1.1	
			田	畑	樹園地		
101.59	7,161	70.5	399	54	31	314	3.6

〈産 業〉 産業構造

（百万円・人）

区 分	総生産額(平29年度)		就業人口(平27国調)	
	金額	率	人数	率
第1次	1,924	3.2 %	953	9.3 %
第2次	10,985	18.4 %	2,317	22.7 %
第3次	46,896	78.4 %	6,930	67.9 %
計	59,805	100.0 %	10,200	100.0 %

（注）「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業（平30年）

（百万円）

品 名	製造品出荷額等
食料	9,235
窯業・土石	1,371

所得（平29年度）

1人当たり 市町民所得	2,596 千円
----------------	----------

令和元年度の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費
水道事業(配水管布設替等工事)	68
水道事業(浄水場改修工事)(繰越事業)	105
公共下水道事業(管渠工事等)(繰越含む)	309
町道等道路改良・維持補修事業(繰越含む)	225
砥部小学校屋内運動場石綿除去工事	34
麻生保育所改築事業(繰越含む)	527
中央公民館耐震・大規模改修事業(繰越含む)	989
簡易給水施設等改良工事	35
災害復旧事業(過年度分)(繰越事業)	232
町防災行政無線更新事業	108
排水ポンプ車整備事業	36
小学校ブロック塀改修工事(繰越事業)	14
小学校校舎空調設備整備工事(繰越事業)	184

今後の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費
水道事業(配水管布設替等工事)	40
水道事業(配水池築造成工事)	151
公共下水道事業(管渠工事等)(繰越含む)	526
町道等道路改良・維持補修事業(繰越含む)	332
麻生小学校校舎等大規模改修事業	166
小学校校舎空調設備整備工事	59
小中学校校内ネットワーク整備工事	70
麻生保育所改築事業(繰越含む)	90
砥部町文化会館図書館雨漏改修工	23
町防災行政無線更新事業(繰越含む)	341
簡易給水施設等改良工事	38
災害復旧事業(過年度分)(繰越含む)	229
超高速ブロードバンド整備事業	320

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡 観光施設	<p>名勝旧跡…砥部衝上断層 大下田古墳群 水満田古墳群 千里城址 砥石山 銚子滝 仙波溪谷 権現山 白糸の滝 長曾池 立花城跡 玉谷三所権現 千人塚 観光施設…とべ動物園 えひめこどもの城 陶街道ゆとり公園 とべ温泉「湯砥里館」 陶芸創作館 砥部焼伝統産業会館 陶板の道 陶祖ヶ丘 神の森公園 道の駅ひろた「峡の館」 農村工芸体験館 権現山休憩所 長曾池キャンプ場 銚子ダム公園</p> <p>伝統芸能…獅子舞 舎儀利 立花太鼓 満穂万歳 観光ルート…陶街道五十三次</p>
祭り 催し物	<p>祭り…地方祭(10月6～7日・23日) 催し物…砥部焼まつり(4月第3土曜・日曜日) ほたるまつり(5月下旬～6月中旬) 権現山流しそうめん(7月～9月上旬) 秋の砥部焼まつり(11月第1土曜・日曜日) 砥部陶街道文化まつり(11月第1土曜・日曜日) じねんじょまつり(12月上旬) 七折梅まつり(2月20日～3月10日) とべ日曜日(毎週日曜日) 川登市場(毎月第2日曜日) とべ楽市(奇数月の第2日曜日)</p>
公営 宿泊施設	

〈名物・特産品〉

砥部焼 みかん 七折小梅 自然薯 日本酒 酒飴 たらいうどん 乾しいたけ こんにゃく しょうゆ

〈主な公共施設〉

砥部焼伝統産業会館 陶芸創作館 とべ温泉「湯砥里館」 総合福祉センターはらまち 保健センター 美化センター
 老人福祉センター 老人憩いの家 老人生きがいの家 坂村真民記念館 中央公民館 千里地区公民館 文化会館
 図書館 陶街道ゆとり公園 ひろた交流センター 農業研修センター 陶芸作業場 ふるさと生活館 山村留学センター
 神の森公園 高齢者生活福祉センター 峡の館 農村工芸体験館

〈主要課題〉

1. 本町に住む全ての住民が感じる心と体の（安らぎ）
 - ・だれもが地域で幸せに暮らすことができるまちの実現
 - ・防災・防犯に取り組み、安全で安心して暮らすことができるまちの実現
2. 本町の未来を担う人が育ち、生涯にわたり学びがある（育み）
 - ・未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちの実現
 - ・身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちの実現
 - ・文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちの実現
3. 人々の交流や産業の発展により本町に生まれる（彩り）
 - ・多彩な地域資源を生かし、人や地域が潤うまちの実現
 - ・多くの人が訪れる交流の活発なまちの実現
4. 本町の暮らしの利便性を高め、都市機能としての基盤強化を図る（快適）
 - ・快適な住民生活を支える社会基盤の実現
 - ・豊かな自然と共に生きる環境整備の実現
 - ・人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営の実現
5. 共通テーマの取組み
 - ・人と地域のつながりを活かした協働によるまちづくり
 - ・誰もが住みやすく住みたいと思えるまちづくり
 - ・将来にわたって持続可能なまちづくり

〈地域づくりの事業等〉

平成17年の町村合併を契機に、旧町村を結ぶ国道33号・国道379号を『砥部陶街道』と命名し、まちづくりの象徴として各種事業に取り組んでおり、平成20年11月には、日本風景街道に認定されている。
 平成26年8月には、砥部町を走る国道33号の中央分離帯に砥部焼モニュメント10基を設置し、国の伝統的工芸品である「砥部焼」のPRを行い、砥部焼の振興を図っている。（現在33基設置）
 また、平成28年8月には東京アンテナショップを開催し、首都圏における「砥部焼」をはじめとした町産品の認知度向上及び販路拡大を図るほか、平成28年12月には砥部を全国にPRするためのブランドマークを制作し、他の自治体との差別化を図るデザインツールとして、様々なものに活用を広げている。

